**DISVCOVER OSAKI　おらほのニュース発信します！**

**大崎市・台東区姉妹都市提携40周年記念事業「おおさき未来の森づくり2024」が開催されました**

6月16日に鳴子温泉地域鬼首地区で、「第2回おおさき未来の森づくり2024」が行われました。

今回は、姉妹都市提携40周年を記念して、東京都台東区から15人を招き、記念標柱の設置や共通のシンボルツリーであるサクラの苗木を、互いに協力して植樹しました。また、市内外から集まった総勢186人の参加者も、サクラの苗木のほか、ミズキやケヤキの苗木約600本を植樹しました。

天候に恵まれ、参加者は森林が持つ役割や大切さを学ぶとともに、将来立派に成長した「未来の森」が、本市と台東区の絆の象徴になっていることを願いながら、交流を深めました。

写真：親子でサクラの苗を植樹しました

**全国こけし祭り「張りぼてこけし修繕プロジェクト」が開催されました**

8月30日(金曜日)～9月1日（日曜日）に鳴子温泉地域で開催される「第69回全国こけし祭り」に向けて、鳴子小学校の児童が「張りぼてこけし」の修繕に取り組みました。

鳴子小学校は、来年度の小・中学校の統廃合により、今年度で閉校になります。そこで、全国こけし祭り実行委員会が、児童に思い出を作ってもらおうと、「張りぼてこけし修繕プロジェクト」を企画しました。

児童たちが、古くなった「張りぼてこけし」の外装を取り除き、新たに外装となる新聞紙を貼って、最後はこけし工人と一緒に絵付け作業を行いました。

美しく生まれ変わった「張りぼてこけし」は、8月31日（土曜日）の夜に行われる「フェスティバルパレード」で、多くのこけしファンに披露されます。

写真：フェスティバルパレードを練り歩く「張りぼてこけし」

写真：熱心に作業を行う児童たち

**「第2回水辺で乾杯in江合川」が開催されました**

7月7日に古川地域桜ノ目地区で、「第2回水辺で乾杯in江合川」が行われました。

このイベントは、江合川沿いの地域住民や地元企業が主体となっている「江合川かわまちづくり協議会」が、国土交通省が支援している水辺を利用したまちづくり事業「かわまちづくり」の一環として開催した交流事業です。

集まった水辺を愛する地域の人たちは、飲み物を持ち寄り、天の川伝説にあやかった7月7日午後7時7分に合わせて皆で乾杯し、水辺の未来について語り合いながら、懇親を深めました。

江合川かわまちづくり協議会では、今後も江合川の魅力を生かしたまちづくり活動を展開します。

写真：地域で盛り上げる水辺中心のまちづくりの未来に乾杯！